



幕末維新書留

慶應三年七月

唐石三
七

服部文庫
417
2189
43



117 持
2189
43



一先達... 中片... 七月十日

岩田七子

一和家... 此所... 七月十日

松平右馬將監

同日... 七月十日

孫信國

此... 松平... 同日...

月夜...

服部文庫
117
1292
74172

田舎

酒井能伊吉

同

一歩山是年類

中... 根

遊... 根

日... 根

如... 根

可... 根

一... 根

聲... 根

後... 根

同... 根

幸山修修吉

店

我... 根

増山修馬吉

日... 根

一... 根

日... 根

天... 根

上... 根

亦... 根

七... 根

七... 根

竹... 根

一... 根

亦... 根

七... 根

林... 根

一... 根

不... 根

此種... 表則... 七月... 田... 林昌之助

七月

一和... 養... 林昌之助

壬戌... 招...

二月廿六日

元

一米七十... 招...

此代... 招...

七日

招...

用... 招...

作...

品川... 招...

招...

初... 招...

招...

新... 招...

招...

小... 招...

招...

右任居官何力云

新居官何力云

右田系姓九
右秋居何力云

七月十五日 右任居官何力云



松平加賀守心

松平加賀守心

長大隅古醫師

明石拾庵

右海軍少將通

右海軍少將通 所用少將以任付少將中 右海軍少將通 所用少將以任付少將中 右海軍少將通 所用少將以任付少將中

覺

四介佛堂 線條袍

武挺

右善快守丸幸之 所用少將以任付少將中 右善快守丸幸之 所用少將以任付少將中 右善快守丸幸之 所用少將以任付少將中

酒井善枝子内

成田代官門

一 拙者我之被治法 一 拙者我之被治法 一 拙者我之被治法

服部文庫
117
1992
X5/73

百以懸分置置以爲新在甲申此信四支可下也

七月十六日

井上河内守

拙者共供達打新成之役酒信格以任月申事之序善之及之
以月酒信格中墨羅紗袋入長柄傘為事り也志侍分不
振前力が致中を以信お同申事

七月十六日

井上河内守

同十六日

伏兵取

場不之或干石法大支場不席之義ハ騎兵取之老力支配也

一朝廷が貢款之義兼之也 信出通松義尚卯年二而所信立不
之若礼綿之把之秋仕分在也 社陸在何之也

七月十六日

石川善徳守

付札

伺之通可也 貢款也

甲府山城代也

同十八日

壺田守也

此度法句の改正に依りて法中益之可敷有未敷之義易可申事也
お進打柄有壺田在勅之而之京地并於高地お物小付次お脚を以お進
路右之史也致之義おれ向也之得九之義也分也之致也及
加東原也致一振お認め所致也致お振て波り也
四機峰何并之也未定速に及致し之難お分也是近之通可也心也

同日

大目付
四目付

一 之殺歩兵也お抱入れ成り也 是近路之義也軍役後身抱入之内分也
撰出資子降軍奉納并分進致す也中下也退之お進也近之去代流
也 是也 是也

右之松三子石以下軍役預自是起而之可通也
七月

於京師相連小書付

宗田の白守心

三原守心

場下言或子石而役料手三日俵序一故を宗師有り一決可てお侍
川支

古之通達之

七月十九日抄御

近衛掃部元吉書付字

一開帳之支不^レ得止^レ支^レ言^レ 以^レ其件^レ在^レ成^レ其^レ北^レ信^レ出^レ以^レ未^レ
以^レ安心^レ以^レ場合^レ言^レ能^レ不^レ移^レ亦^レ世^レ不^レ朽^レ固^レ於^レ運^レ一^レ
王^レ室^レ以^レ安^レ危^レ不^レ相^レ拘^レ弟^レ氏^レ之^レ故^レ安^レ其^レ孤^レ懸^レ上^レ規^レ則^レ在^レ其^レ孤^レ懸^レと

言^レ上^レ有^レ以^レ小^レ松^レ大^レ松^レ我^レ也^レ為^レ也^レ 伴^レ付^レ言^レ偏^レ
朝^レ家^レ以^レ為^レ帝^レ社^レ之^レ為^レ也^レ而^レ百^レ百^レ可^レ致^レ母^レ於^レ支^レ

右^レ之^レ甚^レ忍^レ入^レ竹^レ中^レ上^レ兼^レ以^レ其^レ兵^レ之^レ茂^レ

中^レ國^レ以^レ安^レ危^レ其^レ林^レ松^レ存^レ存^レ心^レ痛^レ後^レ患^レ之^レ甚^レ言^レ其^レ不^レ可^レ不^レ顧^レ心^レ付^レ
之^レ身^レ言^レ上^レ以^レ支^レ

六月

議 奏中

忠房

一^レ於^レ其^レ港^レ地^レ也^レ數^レ也^レ聽^レと^レ極^レ也^レ未^レ代^レ限^レり^レ其^レ言^レ性^レ度^レ不^レ可^レ然^レ押^レ破^レり

一^レ於^レ其^レ港^レ地^レ也^レ數^レ也^レ聽^レと^レ極^レ也^レ未^レ代^レ限^レり^レ其^レ言^レ性^レ度^レ不^レ可^レ然^レ押^レ破^レり

通行^云之^云必^云折^云而^云中^云板^云を^云大^云爲^云之内^云二^云爲^云斗^云以^云以^云付^云陽^云年^云於^云日^云
 夫^云至^云前^云之^云器^云法^云仕^云物^云亦^云世^云 玉^云室^云之^云由^云色^云不^云物^云爲^云
 氏^云之^云あ^云攻^云波^云小^云板^云 遊^云を^云有^云如^云神^云宮^云其^云代^云大^云社^云の^云凡^云に^云論^云を^云
 院^云補^云に^云あ^云ら^云ん^云は^云之^云又^云に^云至^云望^云位^云止^云字^云の^云望^云位^云止^云云^云
 右^云之^云規^云則^云其^云立^云出^云入^云の^云事^云近^云其^云患^云也^云左^云之^云事^云或^云以^云年^云之^云通^云爲^云
 大^云材^云以^云此^云 任^云由^云指^云有^云私^云を^云北^云余^云規^云則^云之^云度^云も^云あ^云ら^云し^云得^云た^云事^云あ^云ら^云ず^云
 此^云之^云規^云則^云世^云に^云あ^云ら^云ず^云も^云と^云云^云ら^云ば^云可^云い^云言^云ふ^云言^云ふ^云と^云云^云也^云

二月廿六日

忠房

浅 奏中

三月廿六日 御用儀書付下先之度御用儀



成瀬隼人正

服部文庫 117

71

一高月乃御用儀書付下先之度御用儀 美人の御用儀書付下先之度御用儀
 一高月乃御用儀書付下先之度御用儀 美人の御用儀書付下先之度御用儀
 一高月乃御用儀書付下先之度御用儀 美人の御用儀書付下先之度御用儀
 一高月乃御用儀書付下先之度御用儀 美人の御用儀書付下先之度御用儀

一高月乃御用儀書付下先之度御用儀 美人の御用儀書付下先之度御用儀
 一高月乃御用儀書付下先之度御用儀 美人の御用儀書付下先之度御用儀

私傳一此七年味病免且生身種之瘡甚信以是九月十日
此後之傳是年身有熱氣痛子豐文代印印年印生身
若果身之要地之物玉指方而歸回行傳中自後之元業
痛之休之印月身端之物一若依身之印其為印
之身者身之若心之身之身之身之身之身之身之身之身之
印之身之身之身之身之身之身之身之身之身之身之身之
印之身之身之身之身之身之身之身之身之身之身之身之

有印

小室尔在...

別紙 且見

私傳一此七年味病免且生身種之瘡甚信以是九月十日
此後之傳是年身有熱氣痛子豐文代印印年印生身
若果身之要地之物玉指方而歸回行傳中自後之元業
痛之休之印月身端之物一若依身之印其為印
之身者身之若心之身之身之身之身之身之身之身之
印之身之身之身之身之身之身之身之身之身之身之身之
印之身之身之身之身之身之身之身之身之身之身之身之

此後之傳是年身有熱氣痛子豐文代印印年印生身

六月廿六日

小室尔在...

二月二十日...

別紙

此後之傳是年身有熱氣痛子豐文代印印年印生身
若果身之要地之物玉指方而歸回行傳中自後之元業
痛之休之印月身端之物一若依身之印其為印
之身者身之若心之身之身之身之身之身之身之身之
印之身之身之身之身之身之身之身之身之身之身之身之
印之身之身之身之身之身之身之身之身之身之身之身之

後任百箇のり

一 船名石名之石名権左坂 英國之兵卒六人の神名内仙元下りて一船
上送り候事船通、船中、石名を押し候事、船中、石名を押し候事、船中、石名を押し候事、
定早、石名出張、石名出張、石名出張、石名出張、石名出張、石名出張、石名出張、石名出張、
石名出張、石名出張、石名出張、石名出張、石名出張、石名出張、石名出張、石名出張、

一 輪安子とてお名依無、為年、薩印然、其後、高僧、高僧、高僧、高僧、高僧、高僧、高僧、高僧、
生、

一 内城者、惣福、内城者、惣福、内城者、惣福、内城者、惣福、内城者、惣福、内城者、惣福、
薩長、薩長、薩長、薩長、薩長、薩長、薩長、薩長、薩長、薩長、薩長、薩長、薩長、薩長、薩長、薩長、
伴、
の、

薩州、薩州、薩州、薩州、薩州、薩州、薩州、薩州、薩州、薩州、薩州、薩州、薩州、薩州、薩州、薩州、

中、
其、
一、
い、
言、
美、
也、
下、
と、
其、
一、
一、
一、

子馬比り通用の事ありと云く國內に原ありと云く
長州より時下ノ宮津上陸し而て相討りて下宮に兵
を懸るるの儀も是れ右見相討りて死を求むれば
相討りて其安を乞ふに或は兵を乞ふ相討りて死
有し書状を乞ふに或は兵を乞ふ相討りて死
相討りて松山侯大鳴部を討功我指利相討りて死
の御中へ歸り放銃す城の兵を擄りて松山侯大鳴部を
あり書状を乞ふに或は兵を乞ふ相討りて死
斬首す其屍を松山侯大鳴部に送り松山侯大鳴部
す其屍を松山侯大鳴部に送り松山侯大鳴部
大鳴部を討功我指利相討りて死
松山侯大鳴部を討功我指利相討りて死
死傷ありて松山侯大鳴部に送り松山侯大鳴部

七ノ世不審

一薩々西ノ某侯として土州某の彼を過すなり其年一暮時
由使梅次孫大某の是を過すなり松山侯大鳴部を討り
又由西ノ某侯として



慶應義塾 同二十五年迄

伊豆の島に浪を引く事ありて

一 在る指方七子アノ事ナシ

右ノ事ニ及ビ 伊豆ノ島ノ事ナシ

其月分迄ノ月申上ノ事ナシ

一 在る事ナシ

右ノ事ノ月分同ノ事ナシ

其代金ノ事ナシ

伊豆ノ島ノ事ナシ

一 在る事ナシ

伊豆ノ島ノ事ナシ

一 在る事ナシ

伊豆ノ島ノ事ナシ

服部文庫
117
1290
50/181

一 永正十一年三月五日

此御供之儀米等々所出候事

一 永正十一年三月七日

此御供之儀米等々所出候事

一 永正十一年三月八日

一 永正十一年三月

此御供之儀米等々所出候事

永正十一年三月十五日

此御供之儀米等々所出候事

一 永正十一年三月十五日

此御供之儀米等々所出候事

此御供之儀米等々所出候事

此御供之儀米等々所出候事

此御供之儀米等々所出候事

此御供之儀米等々所出候事

一 永正十一年三月十五日

此御供之儀米等々所出候事

此御供之儀米等々所出候事

此御供之儀米等々所出候事

此御供之儀米等々所出候事

一 永正十一年三月十五日

此御供之儀米等々所出候事

此御供之儀米等々所出候事

一人名ありて長中口上より
 八月廿四日... 別紙送達書...
 八月廿五日... 別紙探書書...
 八月廿六日... 別紙探書書...

七月廿七日... 秋元... 押田...

一 八月廿四日...

別紙送達書... 八月廿五日... 別紙探書書...
 八月廿六日... 別紙探書書...
 八月廿七日... 別紙探書書...

八月廿八日... 別紙探書書...
 八月廿九日... 別紙探書書...
 八月三十日... 別紙探書書...

八月三十一日... 別紙探書書...
 九月初一日... 別紙探書書...

一 夫宗以... 最大... 宗令... 皆人... 宗依... 宗依... 宗依...
 宗依... 宗依... 宗依... 宗依... 宗依...
 宗依... 宗依... 宗依... 宗依... 宗依...

去歲以順十上無移又餘人其生元治定而仕以於前件事十上久
少死作不后之其後任以順自於此後其孫以等之於平其百
以上諸成之其後之而之其孫也 任付之其下之孫以順以事付
其事以順上

卯三月

聖德寺

以代費

以役所

以事付事十上

一 慶長十八年丑十月 任事十五ヶ条之 以定目貞享四年十月
任事十三ヶ条之 以定目純享元年八月高寺開山一庭和當
崇 台命於高地行往轉和如化以言 寬永十九年九月吉達
乙聽以倫言 以事付事十上 任付和保之 二ヶ条 未不 思報
討之 志慢佛之 和如 任事 以事付事 和如 任事 和如 任事
刑之 宗不 思見 任事 和如 任事 以事付事 以事付事 以事付事
其 裁之 思物之 任事 和如 任事 以事付事 以事付事 以事付事
之 於 裁之 思佛之 任事 和如 任事 以事付事 以事付事 以事付事
卯三月 以奉如所 以奉如所 以奉如所

浦上村以代費事之入致之

中野之入五ヶ条

徳三ヶ条

右之者大如事之名付

坂中山中

為重

道上

高吉

以平

中心口布

平井指平五ヶ条

本原之平 亦市

本原之平

仙左衛門

河心

文仰

宗持之平 托

市布

漢口代

右八人之者如事之名付

以吉

坂下

平吉布

丑之仰

佐吉

市三布

平吉布

高吉

明仰

中野之入五ヶ条

浦中野

孫之仰

本尾

上之仰

本原平

市五布

市之仰

長之仰

弘尾

市之仰

右之者如事之名付

宗燈の馬場

二市三仲之長宅

中燈

宗燈の長宅

名付小宗

宗燈の長宅

宗燈の長宅

内宗の長宅

宗燈の長宅

内宗の長宅

宗燈の長宅

内宗の長宅

一 宗燈の長宅

宗燈の長宅

宗燈の長宅

宗燈の長宅

一 宗燈の長宅

宗燈の長宅

宗燈の長宅

宗燈の長宅

一 宗燈の長宅

宗燈の長宅

宗燈の長宅

宗燈の長宅

宗燈の長宅

宗燈の長宅

宗燈の長宅

一 宗燈の長宅

宗燈の長宅

宗燈の長宅

宗燈の長宅

宗燈の長宅

宗燈の長宅

勿下年所折、押去、其後は色々、
 始に隊胆且勿踏方、
 等を以て、前主人敷を、
 大丸等、
 一様町字尾何、手換、
 村方、
 一様町、
 一様町、
 一様町、
 一様町、

一様町、
 一様町、
 一様町、

一様町、
 一様町、
 一様町、

一様町、
 一様町、
 一様町、



一様町、
 一様町、
 一様町、

一様町、

一様町、

一様町、

一様町、

一様町、

一様町、

一様町、

一様町、

一様町、

一様町、

一様町、



七月廿五日

松平定房

御下付

一 松平頼久丞が御用由申上り申渡り奉り申渡り候事
御免上付候事申渡り候事
御免上付候事申渡り候事
御免上付候事申渡り候事
御免上付候事申渡り候事

七月廿五日

松平頼久

一 幸船渡り候事申渡り候事
御免上付候事申渡り候事
御免上付候事申渡り候事
御免上付候事申渡り候事
御免上付候事申渡り候事

七月廿五日

松平頼久

御下付

松平頼久

禁裏附

席外御用由申上り申渡り奉り申渡り候事
御免上付候事申渡り候事
御免上付候事申渡り候事
御免上付候事申渡り候事
御免上付候事申渡り候事

七月廿六日

松平頼久

御下付

御下付

御下付

御下付

御下付

松平頼久

御下付

河相本

七月初十日... 人教... 相... 河... 本...

可... 七月廿九日

七月廿九日

伯... 青...

右... 於... 及... 為... 捕...

町... 州... 中... 上...

七月廿九日

酒... 井... 尉...

新... 任... 奏...

松... 平... 左... 院... 見... 込...

唐三十七

175

以上... 所... 用... 七... 為... 其... 中... 任... 切... 既... 交...

七月

松... 兵... 門... 港... 多... 指... 有... 上... 系... 見... 込... 中... 七... 振... 以... 信... 有... 別... 見... 込... 為... 也...

海... 之... 事...

七月初十日... 傳... 奏... 奉... 出... 身... 後... 之... 般... 以... 友... 言... 上... 知... 克... 達... 向... 在... 在... 毒... 子... 瑞... 瑞... 付... 節... 存... 苦... 勞... 之... 念... 食... 之... 以... 今... 轉... 七... 歸... 生... 有... 有... 苦... 之... 始... 出... 云...

七月廿九日

高川及不立系... 新... 七... 御...
高川及不立系... 新... 七... 御...
高川及不立系... 新... 七... 御...
高川及不立系... 新... 七... 御...
高川及不立系... 新... 七... 御...
高川及不立系... 新... 七... 御...
高川及不立系... 新... 七... 御...
高川及不立系... 新... 七... 御...
高川及不立系... 新... 七... 御...
高川及不立系... 新... 七... 御...

七月十七日 伊賀守 辰河 辰

遊覧

英國... 支那... 英人... 泊... 御...
英國... 支那... 英人... 泊... 御...
英國... 支那... 英人... 泊... 御...
英國... 支那... 英人... 泊... 御...
英國... 支那... 英人... 泊... 御...
英國... 支那... 英人... 泊... 御...
英國... 支那... 英人... 泊... 御...
英國... 支那... 英人... 泊... 御...
英國... 支那... 英人... 泊... 御...
英國... 支那... 英人... 泊... 御...

御... 御...

我中五ノ中ニ至リて里ノ初ノ由生ニ行ヒ休泊
 不仕ニ至キ難キガ本ノ由カ中ニ至リて心死
 及人ニ至ル由生ニ至リて心死ノ由カ中ニ至リ
 歎ク所仕ホ由生人ト厚子ハ念治ル由生ノ由カ
 為中ノ様其ト土人トモト生相ノ由カ中ニ至リ
 畜波ニ至リて中ノ由カ中ニ至リて心死
 我カ中ニ至リて心死ノ由カ中ニ至リて心死
 東再ニ至リて心死ノ由カ中ニ至リて心死
 中ノ由カ中ニ至リて心死ノ由カ中ニ至リて心死
 縁カ中ニ至リて心死ノ由カ中ニ至リて心死
 為カ中ニ至リて心死ノ由カ中ニ至リて心死
 中ニ至リて心死ノ由カ中ニ至リて心死

外ノ由カ中ニ至リて心死ノ由カ中ニ至リて心死
 妙カ中ニ至リて心死ノ由カ中ニ至リて心死
 法カ中ニ至リて心死ノ由カ中ニ至リて心死
 糸カ中ニ至リて心死ノ由カ中ニ至リて心死
 先カ中ニ至リて心死ノ由カ中ニ至リて心死
 元カ中ニ至リて心死ノ由カ中ニ至リて心死
 且カ中ニ至リて心死ノ由カ中ニ至リて心死
 昇カ中ニ至リて心死ノ由カ中ニ至リて心死
 中カ中ニ至リて心死ノ由カ中ニ至リて心死
 極カ中ニ至リて心死ノ由カ中ニ至リて心死
 由カ中ニ至リて心死ノ由カ中ニ至リて心死
 回カ中ニ至リて心死ノ由カ中ニ至リて心死
 能カ中ニ至リて心死ノ由カ中ニ至リて心死

市子其おぬるち作は法おす探よ成り支ち
ひる一二石市主と意老お向在祈士老千誠高
了上

甲子一十

相備おあ中家東
市子元老たつ

市付札
書而ぬる人の地権干ひし本ひぬ言信人
通六辨ぬ極ぬ付と来六来了し信にお
るぬるぬ更隆ぬぬ主控上ぬる、探ぬる

城前七座物お探ぬぬぬ探ぬ神戸ぬぬ地支
三平探余港支城ぬぬぬぬ内人其支ぬ
中家丹ぬ中進十元付同村段人ぬ一及来神

今今又千港に付る者其居ぬ生田村支ぬぬ
村支ぬぬぬ地見ぬぬ地支ぬぬぬぬぬ
後後法来ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ
其支ぬぬ地支ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ
ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ
ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ
ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ
ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ
ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ
ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ
ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ
ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

三月十日
六日

松多越おあ中家東
永田後

芳妙表^國情切迫^且以^且躬解^且玉奉^且伴^且直^且欲
乳^且華^且情^且中^且少^且有^且成^且粮^且米^且五^且少^且後^且其^且更
秋^且三^且友^且刻^且合^且亦^且故^且插^且中^且越^且家^且式^且所^且
取^且越^且上^且了^且付^且亦^且邦^且拍^且疑^且之^且夫^且其^且亦^且
有^且当^且秋^且上^且粮^且米^且經^且上^且信^且云^且反^且乳^且
宗^且不^且亦^且了^且了^且也^且亦^且未^且

以^且元^且
取^且直^且氏^且良^且の^且お^且後^且以^且百^且信^且亦^且方^且事^且勤^且定^且在^且
り^且一^且の^且お^且合^且と^且す^且

一 菱^且有^且三^且卵^且每^且月^且廿^且日^且出^且國^且計^且概^且お^且信^且河^且札^且註^且漸^且



一 清^且濁^且不^且通^且之^且岐^且亦^且以^且辨^且羊^且山^且堂^且人^且無^且今^且此^且法^且變^且革^且此^且

一 婦^且人^且通^且方^且之^且別^且後^且時^且女^且想^且之^且男^且亦^且同^且概^且振^且念^且の^且如^且通^且小^且其^且

一 別^且整^且也^且受^且の^且少^且の^且古^且法^且而^且別^且後^且之^且政^且亦^且如^且是^且

一 古^且之^且案^且之^且案^且婦^且人^且當^且乎^且此^且中^且之^且通^且り^且言^且通^且り^且以^且後^且之^且言^且也^且近^且通^且り^且
一 振^且念^且之^且案^且目^且付^且於^且相^且取^且之^且案^且在^且此^且中^且之^且大^且是^且也^且并^且在^且其^且中^且
一 如^且之^且何^且人^且亦^且有^且之^且案^且故^且法^且當^且付^且也^且世^且物^且外^且之^且也^且亦^且有^且之^且案^且故^且法^且當^且付^且也^且亦^且有^且之^且案^且故^且法^且當^且付^且也^且

御^且附^且札^且
其^且亦^且一^且也^且言^且婦^且人^且亦^且乎^且之^且也^且證^且之^且也^且其^且亦^且一^且也^且言^且婦^且人^且亦^且乎^且之^且也^且

服部文庫
117
1291
23176

返、亦、心、得、意、在、此、大

一 諸君、又、意、出、用、事

此、女、之、通、行、後、人、派、以、多、夫、相、得、得、心、之、大、信、信、之、者、也

公、亦、亦、用、心、察、保、殊、
免、重、重、(可)之、
同、後、亦、心、得、以、也

不、若、夫

佛、佛、札

書、函、之、通、士、親、亦、而、幸、也

一 是、也、不、能、打、令

此、為、不、能、理、在、日、全、亦、
根、合、若、後、以、士、士、之、
以、是、斷、言、也

り、終、
後、
者、志、也、
亦、我、也、
亦、我、也、
亦、我、也、

亦、我、也、
亦、我、也、
亦、我、也、
亦、我、也、

佛、佛、札

一 去、而、得、札、也、
其、意、亦、何、
如、其、心、得、也

亦、我、也、
亦、我、也、
亦、我、也、
亦、我、也、

亦、我、也、
亦、我、也、
亦、我、也、
亦、我、也、

也、
也、
也、
也、

大、田、道、也、
亦、我、也、

亦、我、也、
亦、我、也、

